# 材料（製品）安全データシート

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 製品の名称 | ：DP-懸濁液A | ページ | ： | 1/7 |
| データ更新日 | ：2006年5月29日 | 発行日 | ： | 2006年5月29日 |
| 製品名称番号 | ：M1201117 | SDS-ID | ： | US/7.0 |

## 1.　物質/製品と製造/販売会社

製品の名称　：DP-懸濁液A
適用　：材料微細構造検査試料準備の切断/冷却用添加剤。
容器のサイズ　：250ミリリットル
データ製造者　：ストルアス社
製造・販売会社　：ストルアス社（StruersA/S）
Pederstrupvej 84, 2750 Ballerup, DENMARK (TEL：＋45-44600-800)
丸本ストルアス株式会社
〒110-0015 東京都台東区東上野1-18-6（TEL：03-5688-2930）
緊急時の連絡先　：丸本ストルアス株式会社　応用開発部
〒110-0015 東京都台東区東上野1-18-6（TEL：03-5688-2917）

## 2.　成分の構成/情報

本製品は、有機溶剤と添加剤を含有している。

| 薬品名 | EINECSNo. | CAS No. | 含有比（%） | 危険性の分類 |
|---|---|---|---|---|
| エタノール | 200-578-6 | 64-17-5 | 50～90 | 引火性：R11 |
| プロパンジオール | 200-661-7 | 67-63-0 | 5～20 | 引火性：R11<br>炎症性：R36、R67 |
| グリコール | | | 10～20 | - |
| ダイヤモンド | 231-953-2 | 7782-40-3 | ＜0.5 | - |

注記：なし。

## 3.　危険性の特定

本製品は、危険性の分類、引火性：R11に分類される。

物理的/科学的危険性　：本製品は引火性が高いので、常温でも爆燃性の気液混合物を生成する恐れがある。
人体　：有機溶剤を吸入したり経口摂取すると、体内に吸収されて、脳神経を含む神経系に回復不能な障害を与える恐れがある。皮膚を脱脂する。液状の本製品は、皮膚や眼球、呼吸器系などに炎症を引き起こす恐れがある。
環境　：本製品には、環境に対する危険性はないと思われる。

# 材料（製品）安全データシート

## 4.　応急手当

火傷の場合は、ただちに大量の清浄水で洗浄する。洗浄中に、火傷部分に付着していない衣料を切除する。救急車を呼ぶ。洗浄を継続しながら病院へ搬送する。

| | |
| --- | --- |
| 吸入 | ：新鮮な空気がある場所に退避して、安静にする。 |
| 皮膚に付着 | ：汚染された衣服を脱衣して、清浄水で皮膚を充分に洗浄する。 |
| | ：ただちに大量の清浄水で、15分間洗眼する。コンタクト・レンズは取り外して、まぶたを大きく開ける。炎症が治らない場合は、洗眼を続けながら、この指示書と共に病院へ搬送する。 |
| 経口摂取 | ：ただちに口内を洗浄して、大量の水を飲む。容態を観察する。悪心がある場合は、この指示書を持参して、医師の診断を受ける。 |

## 5.　消火方法

| | |
| --- | --- |
| 消火剤 | ：耐アルコール性泡沫消火剤、二酸化炭素消火剤、粉末消火剤又は水煙で消火する。容器が熱源に露出している場合は、散水で冷却して、危険がないことを確認した後に、容器を安全な場所に移動する。 |
| 特定危険性 | ：本製品は、可燃物である。電気の火花、加熱した機器の表面、煙草の燃えさしなどで、本製品の蒸気に着火する恐れがある。 |
| 消防士の防護用具 | ：消火作業中は、自立式呼吸装置を着用する。 |

## 6.　偶発的漏洩時の対応

| | |
| --- | --- |
| 人身保護対策 | ：喫煙を含めて、火気を厳禁する。蒸気を吸入したり、皮膚に付着したり、眼球に飛散しないように注意する。人身保護用具は、第8項を参照する。 |
| 環境保護対策 | ：下水道、河川、土壌などに排出してはならない。 |
| 清掃方法 | ：高濃度の製品を大量に漏洩した場合は、下水道に放流せずに、吸収材で回収する。おが屑などの可燃物を、吸収材に使用してはならない。第13項にしたがって、廃棄物処理をする。 |

## 7.　取扱方法と保管方法

| | |
| --- | --- |
| 安全な取扱方法 | ：蒸気を吸入したり、皮膚に付着したり、眼球に飛散しないように注意する。労働衛生管理を遵守して励行する。静電気の帯電防止対策を講じる。 |
| 技術的対策 | ：喫煙を含めて、火気を厳禁する。 |
| 技術的注意 | ：局所排気を推奨する。 |
| 安全保管の技術的対策 | ：可燃性液体の保管に関する通則に従う。 |
| 保管条件 | ：風通しが良い涼しい場所に保管する。酸化剤に触れないようにする。 |

# 材料（製品）安全データシート

## 8. 被曝防止と人身保護

技術的対策　：十分な換気を計る。業務上の被曝限界値を遵守して、蒸気吸入の危険性を抑制する。

| 化学物質の名称 | 被曝限界値 | 種別 | 注記 | 参考文献 |
|---|---|---|---|---|
| エタノ-ル | 1000 ppm | TWA | A4 | ACGIH |
| エチルアルコール（エタノール） | 1000 ppm, 1900 mg/m$^3$ | TWA | - | OSHA |
| イソプロピルアルコール | 200 ppm | TWA | A4 | ACGIH |
| | 400 ppm | STEL | 15 分 | |
| イソプロピルアルコール | 400 ppm, 980 mg/m$^3$ | TWA | - | OSHA |

人身保護　：人身保護の機器は、CEN規格に従って、機器提供会社と共同で選定する。

呼吸装置　：換気が不充分だが作業時間が短い場合は、有機煙霧吸収缶付ガスマスクを装備した適当な呼吸装置を着用する。(*)

手指保護　：付着の恐れがある場合は、保護手袋を着用する。ブチルゴム製の保護手袋を推奨するが、液状の本製品は手袋を貫通して皮膚に浸透するので、頻繁に交換する。手袋の提供会社と共同で材質の浸透時間を確認し、最適な手袋を選定する。

眼球保護　：飛散の恐れがある場合は、保護眼鏡又は顔面保護のフェイス・マスクを着用する。

皮膚保護　：特にない。

環境被曝制御　：空気汚染制御の必要あり。

## 9. 物理化学的特性

外観　：黒灰色の液体。

臭気　：アルコール臭。

水素イオン指数（pH）　：該当しない。

沸点　：分からない。

引火点　：12℃

爆燃性　：分からない。

相対密度　：0.85

溶解性　：水に混和する。

## １０．安定性と反応性

安定性 ：常温で安定している。
禁止条件/材料 ：直射日光や熱源に露出してはならない。酸化剤から隔離しなければならない。
危険な分解性物質 ：特にない。

## １１．毒物学的情報

換気が不十分な場合は、長時間使用すると以下に記載する健康障害を発生する恐れがある。

吸入 ：少量の場合は、蒸気が咽喉や呼吸器系を刺激して、咳き込む恐れがある。多量の場合は、蒸気が咽喉や呼吸器系を刺激したり、頭痛、目まい、虚脱感などを引き起こす恐れがある。本製品が含有する有機溶剤を多量に吸収すると、中枢神経が麻痺して、目まいや中毒症になる恐れがある。重症の場合は、意識を喪失したり、脳神経を含む神経系や肝機能に回復不能な障害を引き起こす恐れがある。
皮膚に付着 ：長時間にわたって付着していると、皮膚が赤くなったり、炎症を引き起こす恐れがある。乾燥肌になる恐れがある。本製品が含有するプロパンジオールは、皮膚に浸透する。
眼球に飛散 ：眼球に飛散すると、炎症を引き起こす恐れがある。
経口摂取 ：炎症や悪心を引き起こす恐れがある。
特定の影響 ：低濃度でも頻繁に吸入すると、興奮状態、虚脱感、記憶障害などを引き起こし、脳神経を含む神経系や腎臓に回復不能な障害を与える場合がある。

発癌性 ：全国毒物研究計画（NTP） ：なし。
国際癌研究所（IARC）研究 ：なし。
職業安全保健局（OSHA） ：なし。

## １２．生態学的情報

移動性 ：本製品は水に混和するので、河川などに拡散する恐れがある。本製品が含有する有機溶剤は、地面や水面から容易に蒸発する。
分解性 ：本製品は、80％分解できる。(*)
生態系有毒性 ：本製品には、環境に対する危険性はないと思われる。
体間蓄積の可能性 ：体間蓄積に関するデータはない。
その他の有害事項 ：事例なし。

# 材料（製品）安全データシート

## １３．廃棄方法

廃棄物や残留物を処分する場合は、地元監督機関の要請事項に従う。廃棄物は有害廃棄物に分類される。（*）

残留廃棄物　：EWC コード：　16 05 08（*）

## １４．搬送方法

国際連合（UN）指定番号　：1993
適正な出荷名称　：アルコール（特段の記載がない場合）（エタノール混合液）（*）

海上（IMDG）:
- 種別　：3
- PG　：II
- MP　：No
- EmS　：３－０６
- MFAG　：1

内陸水路　：現地で取り扱うこと。

航空（ICAO）:
- 種別　：3
- PG　：II

陸上（RID/ADR）:
- 種別　：3
- PG　：II
- 一次危険標識　：3
- 補助危険標識　：-

## １５．法的規制

ラベル表示 ：高引火性物質

R11 ：引火性が高い。
S16 ：容器を密栓する。
S51 ：風通しが良い場所でのみ使用する。
S60 ：本品及び梱包物は有害廃棄物として廃棄する。

全国防火協会（NFPA）評価 ：人体影響度：0、引火性：3、反応性：0、その他：－

特記事項 ：毒性物質規制法（TSCA）に記載。
法令法規 ：ヨーロッパ/アメリカ合衆国：
本材料（製品）安全データシートは、欧州共同体規則にしたがって作成した。
1）許容限界値（2006年）は、アメリカ政府産業衛生管理者会議（ACGIH）による。（*）
2）アメリカ合衆国連邦規則集第29巻1910部：職業安全保健基準「大気汚染物質」。
3）カナダ（*）
法務省。CRP.-管理製品規制。SOR/88-66。（*）

## １６．その他

ユーザは適正な作業手順に習熟し、本書の内容に精通していなければならない。

今回修正及び追加のあった項目 ：第8、第12、第13、第14 及び 第15項
（*）印 ：今回変更した箇所

デンマーク毒物調査センター（DTC） 担当者承認（署名）：

危険用語解説：

R11 ：引火性が高い。
R36 ：目を刺激する。
R67 ：蒸気により眠気、目まいを起こす恐れがある。

---

本データシートの内容は現時点で有効な情報であり、通常の使用条件で、同梱資料又は取扱説明書に記載する使用方法で適正に取り扱う限り、弊社が知り得る最も正確な情報である。本製品を定められていない目的に使用したり、他の製品又は他の使用方法と併用する場合は、ユーザが危険性に責任を負う。


デンマーク毒物調査センター（DTC）
Kogle Alle 2, DK-2970 Horsholm, Denmark (TEL:+45-4576-2055, FAX: +45-4576-2455)